

	課題内容	昨年度までの効果検証	目標	課題に対応する施策
課題 1	<p>【課題分類】 労働時間の適正化・ワークライフバランス・生活時間の確保</p> <p>【課題】 時間外労働が長くなることで個人の時間活用が十分ではない傾向がある。</p> <p>【根拠】 年間の時間外労働が360時間を超過する社員が約50名に上ったため</p>	<p>年間残業時間が360時間を超過する社員が着実に減少している。</p> <p>2017年→2018年 46名 → 20名</p> <p>2018年→2019年 20名 → 9名</p> <p>2017年度 全体の5.6%が該当</p> <p>2019年度 全体の1.0%へ減少</p>	<p>年間で360時間を超過する社員数を1%以下を目指す。</p> <p>2020年度目標値 8名以下</p>	<p>①時間外労働のモニタリング実施、その結果を毎月統括部の部長と共有・振り返りの場を設けている</p> <p>②前年度360時間を超過した若しくは超過する危険性があった社員本人及び在籍する事業所の管理職に個別面談</p> <p>③新卒・中途採用に対して、入社時研修時に時間外残業の考え方を説明</p>
課題 2	<p>【課題分類】 社員の感染症予防</p> <p>【課題】 業務上高齢者との接点が不可欠であるが、感染症予防に有効なインフルエンザの予防接種が必ずしも十分とは言えない</p> <p>【根拠】 2019年の実施率が70%に満たなかったため</p>	<p>今年度より実施率向上のための取組みを実施</p> <p>2019年度実績 2019年度 → 65.3%</p>	<p>予防接種の実施率をさらに向上させる。</p> <p>2020年度目標値 80%</p>	<p>①社員へ感染症予防の必要性の徹底周知（社内の感染情報専用の掲示板で適宜情報発信、入職時研修内での周知）</p> <p>②各事業所ごとにインフルエンザ予防接種の受診対象者を明確にし、管理・フォローできる体制を構築</p> <p>③インフルエンザ予防接種の全額補助、感染時は特別休暇認定</p>
課題 3	<p>【課題分類】 社員の生産性低下防止・事故発生予防</p> <p>【課題】 業務上腰痛発症リスクが高い</p> <p>【根拠】 2017年度腰痛アンケートにより、腰痛を感じているケア・看護スタッフの約45%が腰痛ありと回答。また、介助中の負担ありと回答した割合が76%に上った</p>	<p>ノーリフトケア推進委員会を設置し、腰痛予防への取り組みを開始した結果、腰痛予防につながる「ノーリフトを知っている」と約9割がアンケートに回答し、腰痛を感じている方の人数が減少している。</p> <p>2019年アンケート 『昨年度からの変化について』 腰痛がなくなった 2.3% 腰痛はあるが改善している 18.0% 変化なく、今も腰痛がない 26.3%</p>	<p>ノーリフトケアを社員へ浸透させ、ケア中の腰痛の悪化を防ぐ。</p> <p>アンケート中の『2019年度からの変化について』</p> <p>腰痛がなくなった、腰痛はあるが改善している変化なく今も腰痛がない</p> <p>の回答割合50%以上を目指す</p>	<p>①新たに腰痛予防体操動画を作成し、いつでも視聴できる環境を整える。</p> <p>②ノーリフトケア推進委員会の活動を継続し浸透を図る。昨年作成した研修の定着を図る。</p> <p>③ノーリフトケアに必要な物品の購入</p>
課題 4	<p>【課題分類】 社員の喫煙率低下</p> <p>【課題】 喫煙は健康に悪影響を与えることが分かっている中で当社の喫煙者が多い。</p> <p>【根拠】 他のグループ会社に比べ、喫煙率の値が高いため</p>	<p>今年度より取り組み開始</p> <p>2019年 喫煙率</p> <p>当社 21.40%</p> <p>グループ会社平均 19.2%</p>	<p>喫煙率の改善を目指す。</p> <p>2020年度目標 20.5%</p> <p>3か年(2023年度)で 19.0%を目指す</p>	<p>①禁煙に関する啓蒙活動 社内ニュースの発行、栄養指導等</p> <p>②禁煙外来費用補助、禁煙補助剤の一部費用補助</p>